



1975: 猫年

今日はTt、

最初の日

旧暦の。

毎回 T t

私たちは甘い蓮の種を食べます

そしてもちもち。

私たちはすべて新しい服を着ていますが、

その下でも。

母は警告する

今日私たちがどのように行動するか

一年全体を予言します。

誰もが笑顔でなければなりません

私たちがどのように感じてても。

誰も掃除することはできませんが、

なぜ希望を一掃するのでしょうか？

誰も水を掛けることはできませんが、

なぜ喜びを飛び散らせるのでしょうか？

今日

私たちは皆、1歳ずつ年齢を重ねていきますが、

私たちが生まれた日に関係なく。

T t、私たちの新年、

みんなの誕生日も兼ねています。

今、私は10歳になり、勉強しています
円形のステッチを刺すには、
分数をパーセンテージに計算するには、
パイヤの木にたくさんの実がなるように育てます。
でも昨夜私は口をとがらせた
母が主張したとき
私の兄弟の一人
最初に立ち上がらなければなりません
今朝
私たちの家を祝福するために
男性の足だけなので
幸運をもたらすことができます。
古くて怒った結び目
喉の中で広がった。
私は決めました
夜明け前に起きる
そして足の親指を軽くたたきます
タイルの床に
初め。
お母さんでさえも、
私の隣で寝ています、知っていました。
2月11日
tt _

インサイドアウト

毎年新年になると母が訪ねてくる
運命の易经テラー。
彼は今年を予言する
私たちの人生は裏返るでしょう。
おそらく兵士はもういないだろう
私たちの近所をパトロールし、
縄跳びできるかも
日没後、
たぶんホイッスル

母に言う
私たちをベッドの下に押し込む
金切り声が止まります。
でも聞いた
遊び場で
今年のバインチャン、
tの間だけ食べられる、
血まみれになるだろう。
戦争が近づいています
家に近い。
2月12日

キム・ハ

私の名前はハです。
クアン兄弟は思い出します
私は赤くて太っていました
カバの赤ちゃんとして
彼が初めて私を見たとき、
名前にインスピレーションを与える
ハマシ、
川馬。
ブラザー V が叫ぶ、ハヤ、
そして私をジャンプさせます
毎回
彼は木やレンガを壊す
ブルース・リーの真似をして。
コイ兄弟が私に電話してきました
母の尻尾
私はいつもだから
彼女から3歩のところにあります。
兄弟は作れない
他の場所に住んで、
でも、できるのに
サンダルを隠します。

私たちはそれぞれ一足しか持っていませんが、
とても必要な
この乾季に
地球が刺すとき。
私に言います
兄弟たちを無視する。
私たちはあなたをキム・Hと名付けました。
黄金（キム）川（ハ）を経て、
父と私はどこで
夕方に散歩したことがある。
両親は全く知らなかった
3人の兄は何ですか
できる_
シンプルな名前に
はあ。
母は私に言います。
彼らはあなたをからかいます
彼らはあなたを愛しているからです。
彼女は間違っている、
でも私はまだ愛しています
彼女の近くにいるのは、私が愛する以上に
うちのパパイヤの木。
彼女にオファーします
その最初の果実。
毎日

パパイヤの木

種から育ちました
はじきました
裏庭。
みたいな種子
魚の目、_
滑りやすい
光沢のある

黒。
木が成長しました
2倍の高さ
私が立っているように
つま先で。
コイ兄弟 斑点のある
初めての白い花。
4つ年上ですが、
彼はより高いところを見ることができます。
ブラザーVは後に発見されました
赤ちゃんパパイヤ
拳の大きさ
トランクにしがみついています。
十八歳のとき、
彼ははるかに高いところを見ることができます。
クアン兄弟は最年長で、
21歳で工学を勉強しています。
彼が何に気づくかは誰にも分からない
私の前に？
誓います
毎朝一番に起きる
露を見つめる
緑の果実の上に
電球のような形。
最初になります
その成熟を目撃するために。
2月中旬

TiTi手を振って別れを告げる

私の親友ティティ
激しく泣いています、
裾を鼻でつまむ
彼女のピンクのふわふわブラウス。
彼女の二人の兄弟

も鼻をすすっている
彼らの車の中
屋根まで詰め込まれた
スーツケースと一緒に。
TiTiが私の手に押し込む
花の種の缶
去年の秋に集まりました。
それらを植えることを望んでいた
一緒に。
裏窓から手を振る
彼らのウサギの形をした車の。
彼女の涙は長い髪と混ざり合い、
あつたらよかったのにとする長い髪。
私はまだそこに立っているだろう
何も言わずに泣いたり手を振ったり
コイ兄弟が来なかったら
私の手を取るために。
彼らが向かっているのは、
彼は言います、
金持ちはどこへ行くのか
ベトナムから逃げる
クルーズ船で。
貧乏になってよかった
だから私たちは滞在できます。
3月上旬

活動中に行方不明

父は家を出た
海軍の任務で
この日
9年前
私がほぼ1歳だったとき。
彼は捕らえられた
国道1号線沿い

街から南に1時間
原付で。
私たちが知っているのはそれだけです。
この日
母は祭壇を準備します
彼の帰還を叫び、
果物を捧げたり、
お香、
チュベローズ、
そしてもち米。
肖像画を見せる
t中に撮影
彼が失踪した年。
なんて穏やかそうな表情をしているのでしょうか、
微笑んで、
孔雀の尾
隅っこで
彼の目のこと。
私たち一人一人がお辞儀をする
そして願います
そして希望
そして祈ります。
祭壇上のすべて
その日は残ります
肖像画を除いて。
お母さんが鍵を閉めてしまう
彼女の詠唱が終わるとすぐに。
彼女は耐えられない
父のことを調べる
いつまでも若々しい
目。
3月10日

母の日

平日は
お母さんは秘書です
海軍の執務室で、
アウトを信頼できる
現金での給与
毎月末に。
夜に
遅くまで起きています
デザインとカット
ベビー服
お針子さんに贈るため。
数年前
彼女は十分なお金を稼いだ
検討する
車を買うこと。
毎週末に
彼女は私を市場の屋台に連れて行ってくれます。
服を脱ぐ
そして集めようとしている
先週の商品について。
もう買う人ほとんどいないけど、
彼女が言います。
人々はほとんど食べ物を買うことができません。
まだ、
彼女は努力を続けています。
3月15日

卵

コイ兄弟
母に怒っている
彼の鶏を奪ったことで
卵。

鶏が与える

卵一個

毎日半日。

順番に交代します

それらを食べています。

コイ兄弟

彼のものを食べることを拒否し、

それぞれをランプの下に置く

を願って

ひよこ。

私は側につくべきだ

私の最も寛容な弟、

でも私は柔らかい黄身が大好きです

パンを浸すために。

母は言います

卵の値段なら

米の値段ではなく、

そしてお米の値段

ガソリンの値段ではなく、

そしてガソリンの値段

金の価格ではありませんでしたが、

それならもちろん

コイ兄弟

卵を孵化させ続けることができます。

彼女はごめんなさい。

3月17日

最新ニュース

毎週金曜日

シン先生のクラスで

私たちはについて話します

現在のニュース。

でも、話し続けると、

共産主義者とどれだけ近いか

サイゴンに到着しましたが、

どれくらい価格が上がったのか

アメリカ兵が去ってから、

遠くにある爆弾は何個

前夜に聞かされた、

シンさんはついにそれ以上何も言わなくなった。

今後

金曜日

のためになります

嬉しいニュース。

誰も何も持っていない

言う。

3月21日

スマートに感じてください

今年

午後の授業もあるのですが、

プラス土曜日。

交代で参加します

フィットできるように

学校に。

午前中は自由、

母は私を信頼しています

オープンマーケットで買い物をする。

昨年9月

私にくれるだろう

50ng

豚肉を100グラム買うには、
空心菜 1ブッシェル、
豆腐 5 個。

でも誰にも言わなかった
買ってた

豚肉99グラム、
ほうれん草 8分の7ブッシェル、
豆腐 4 と 4 分の 3 の立方体。

商人たちは眉をひそめた
母の奇妙な指示。

節約されたお金

買った

トーストしたココナッツの袋、
砂糖たっぷりの揚げ生地1つ、
カリカリの緑豆クッキー 2 枚。

今では 200 ngかかります

同じものを買うこと。

相変わらず豚肉の購入量は減りましたが、
揚げた生地だけを自分に許可します。

誰も知りません

そして賢いと感じます。

3月下旬

さらに 2 つのパイヤ

私は彼らを最初に見ます。

2 つの緑の親指

に成長するだろう

オレンジイエローの楽しみ

夏の匂い。

中甘口

マンゴーと梨の間。

山芋のように柔らかい

滑り降りる

3回簡単に終わったら、
スリル満点のチュー。
4月5日

見知らぬ父親

分かりません
もう父のことは
小さな事よりも
母は滑ってしまふ。
彼は鰻の煮付けが大好きで、
パテ ショード ペストリー、
そしてもちろん彼の子供たちも、
とても彼は
涙が出た
私たちが寝ているのを見ている。
彼は午後の日差しが嫌いでした。
茶色の色、
そして冷やご飯。
クアン兄弟は思い出します
父がよく言っていた
トウイトス、 _ _
ベトナムのやり方
フランス語のフレーズを発音する
最高のスイート
すぐにという意味。
お母さんは笑うだろう
父が彼女を追ったとき
キッチンの周り
繰り返し、
鰻の煮付けに飢えています。
トウイツウツト、トウイツウツト。 _ _
時々ささやきます
トウイトスート 自分に
ふりをする

私は彼を知っている。

「*tuy t sú*」とは決して言いません
母の前で。

私たちの誰も望んでいないでしょう
彼女をもっと悲しませるために
よりも。

毎日

テレビのニュース

クアン兄弟は急いで家に帰ります
クラスから、
自転車を投げ捨て、
疲れ果てた、
余裕がない
彼の原付用のガソリン。
信じられない、
彼は叫びます、
そしてテレビをつける。
南ベトナムのパイロット
大統領官邸を爆撃した
その日の午後のダウンタウン。
その後パイロットは北へ飛行した
そしてメダルを受け取りました。
ニュースではパイロットが言っている
スパイだった
共産主義者にとって
長年。
共産主義者
捕らえられた父、
それでなぜ
パイロットなら誰でも
彼らの側を選びますか？
クアン兄弟はこう言います。
戦争を正当化することはできない

それぞれの側を除いて
自分自身を誇示します
盲目的な確信。
大学に通い始めてから、
さらに誇示します
もつれた言葉で。
そう言い始めると、
でも母は私の手を撫でて、
彼女は私に落ち着くよう合図した。
4月8日

誕生日

最年少の私は、
祝ってもらう
私の本当の誕生日
向きを変えたのに
一つ年上
みんなと同じように
T tで。
一人娘の私は、
いつもはローストチキンを買うのですが、
乾燥竹スープ、
そしてプリン食べ放題。
今年、
母親だけが管理する
バナナタピオカ
そして私のお気に入り
黒ごまキャンディ。
それを補ってくれる
許可することで
一つの願い。
口を染める
甘い黒
そして主張する

物語。
それは簡単ではありません
母を説得する
彼女の少女時代のことを話す
北部で、
彼女の祖母の土地はどこですか
よりも遠くまで伸びた
鳩は飛べるかもしれない、
どこがきれいに見えますか
そして詩を書くこと
それが彼女の唯一の義務でした。
父と約束した
五時に。
彼らは16歳で結婚し、
予想よりも早い。
みんなの未来が変わった
名前を知ると
H・チ・ミンさん。
変化が意味するもの
土地が奪われ、
現在家が所有されている
国家に対して、
召使いたちは権力を手に入れた
戦闘機として。
国は半分に分かれました。
お父さんとお母さんが南に来て、
そうなるだろうと確信していた
呼吸が楽になる
共産主義から離れて。
彼女の父親も後に続くことになったが、
しかし彼は息子を待っていました。
妻を待っていた人は、
子供の出産を待っていた人は
最後の週に

彼女のお腹の中。
同じ週に、
北と南
ドアを閉めた。
もう移行は必要ありません。
もう手紙はいりません。
もう家族はいない。
この時点で、
母は目を閉じて、
誰にも似ていない目、
西洋人のように沈んでいて深い
しかし、私たちと同じようにアーモンドの形をしています。
私はいつも彼女の目を望んでいます、
しかし母はノーと言います。
彼女のような目では助けられない
しかし悲しみを抱えている。
子供の頃でも
彼女の両親は驚いた
彼女の目の重みで。
もっと聞きたいのですが、
でも何も無い、
私の口をとがらせてもいません。
目を開かせることができる
そしてもっと教えてください。
4月10日

お誕生日の願い事

私が内に秘めておきたい願い：
男の子がやっていることを私もできたらいいのに
そして太陽の光で肌が暗くなり、
そして傷跡が私の膝を埋め尽くします。
髪を伸ばせればよかったのですが、
でも母は短いほうがいいと言う
サイゴンの暑さとシラミを克服するために。

ぽっちゃりした頬がなくなったらいいのに。
冷静でいられたらいいのに
何があっても
私の兄弟たちは言います。
やめてくれればいいのに
落ち着けと叱責し、
それがさらに悪化させます。
妹がいたらよかったのに
と一緒に縄跳びをする
そして人形の服を縫う
そして温もりを求めて抱きしめる
夜中に。
お父さんが帰ってきてくれればいいのに
空想をやめることができます
彼が現れることを
私の教室で
白い海軍の制服を着て
私に向かって手を差し伸べる
クラスメート全員に見てもらえるように。
ほとんどの場合、私は望んでいます
戸口に現れるでしょう
そして母の唇を作ります
上向きにカールし、
それらをから持ち上げる
永久的な眉をひそめる
心配事の。
4月10日
夜

ダウントアウンの一日

毎年春

ティウ大統領

長く持つ 長さ
慰めの儀式
戦争の妻たち。
母と私は行くので、
ティウ大統領の後
話せ、話せ、話せ——
戦争に勝ったこと、
民主主義の、
私たちの先祖たちの勇気を——
各家族が得る
砂糖5キロ、
お米10キロ、
そして小さな水差し
植物油。
シクロの車内
足を組む
だから私は彼女の隣に座ることができます。
風はまだ涼しいですが、
橋を飛び跳ねて渡ります
三日月のような形をした
一人では行ってはいけない場所。
お母さんはラベンダーの香りがする
そして暖かさ。
彼女はとても美しいです
たとえ
彼女の頬はあまりにもこけすぎている、
彼女の口は心配で暗すぎた。
警告があったにもかかわらず、
私はまだ彼女の落ち込んだ目を望んでいます。
それを見る前に、
ダウンタウンで聞くと、
ビープ音が鳴り響き、
叫び声、警察の笛。
どこにでも、

モペットと自転車
広い道を駆け抜けて、
邪魔にならないところに移動する
トラックのときのみ
クラクションを鳴らして真っすぐに刈り取る
車線の真ん中。
出ます
公開市場の前で。
私たちはその道を突き進みます
バインクンスタンド。
見るのが大好きです
米粉を布に広げ、
蒸し鍋の上に広げられました。
まるで魔法のようにクレープが出来上がります
エビで満たされる
そして一緒に食べた
キュウリともやし。
さらに美味しくなります
見た目よりも。
口がいっぱいになりながら、
市場の騒音
自らを沈黙させ、
私と私のバインクンをさせてください
浮く。
自分自身を絞ります
市場から出て、
大統領官邸へ向かう。
私たちは列に並んでいます。
さらに長く
私たちは熱い金属のベンチに座ります
表彰台に向かって。
私の白い綿
帽子と母の花柄の傘
何もない

午後の太陽に対して、
光線を発射する
私の短いショートヘア。
めまいがする
そして喉が渴いた。
魚醤
バインクンで
とても塩辛かったです。
母は私にタマリンドキャンディをくれます。
行ったことはありません
とても興奮した
私の唾液を飲むために。
ついにティウ大統領が登場し、
日焼けして汗だく。
私たちはあなたが苦しんでいることを知っています。
ありがとうございます、
あなたの国に感謝します。
それから彼は本物の涙を流し、
拭いていない状態でカメラに向かっています。
母は舌打ちをします。
醜い魚の涙。
それが意味することはわかっています
ワニの偽の涙。
4月12日

ツイストツイスト

母親の対策
米粒
ゴミ箱に残った。
持続するには十分ではありません
給料日まで
月の終わりに。
彼女の眉毛
洗濯物のようにねじる

絞られて乾いている。
ヤムイモとマニオク
素敵な味
お米とブレンドした、
彼女はそう言って微笑んだ。
知らないかのように
貧しい人はどうやって
子どもたちのお腹を満たします。
4月13日

閉店が早すぎます

サイレンが鳴る
シンさんの声で
レッスンの途中で
スマイリーとハゲについて
フォード大統領。
私たちは皆、それが悪いニュースであることを知っています。
学校はもう休みです。
みんな家に帰らなければなりません
一ヶ月は早すぎる。
私は怒って女の子をつねる
私の机を共有している人。
トラムは私の半分の大きさですが、
とても痩せていて神経質です。
私たちの母親は友達です。
彼女は私に告げるでしょう。
彼女はいつも私に言います。
お母さんはまたやるよ
優しくするように叱ってください。
時間が必要です
このなぞなぞを終えるには：
男性は通常自転車に乗ります
時速9キロ、
それでも風が彼を遅らせる

6.76キロメートルまで
26分間
そして5.55キロ
10の場合。
家に帰るまでどれくらいですか
11.54キロメートル離れていますか？
それを最初に解決するのは
サツマイモの苗を手に入れる
窓辺に芽吹いています。
植えたいです
パパイヤの木のそばで、
蔓が登れる場所
そして日陰で熟す果実。
もう一度トラムをつまんで、
植物を知る
授与されます
今日
先生のペットに、
いつも誰ですか
痩せていて神経質
そして決して私ではありません。
4月14日

約束

パパイヤ 5本
のサイズ
私の頭、
膝、
両肘、
そして親指
トランクにしがみつく。
まだ緑
しかし、有望です。
4月15日

海への橋

Snおじさん、
父の親友、
が私たちを訪れます。
彼は背が低くて、色黒で、にこやかで、
背が高くなく、細くて、真面目でもない
写真の中の父のように。
それでもクラスメイトのときは
父のことを聞いて、
時々短くてスマイリー
思い浮かぶ
止める前に。
S n おじさんはまっすぐ進みます
キッチンへ、
後ろのドアが開く場所
路地。

信じられないほどの幸運！
このドアは海軍の検問所を迂回します
そのまま港へ向かいます。
危険を冒すつもりはありません
子供たちと一緒に逃げる
ガタガタの船の上で。
海軍の船だろうか
あなたの承認を満たしていますか？
まるで海軍のよう
国を捨てるだろうか？
南ベトナムはなくなるよ
放置したまま。
あなたは本当に信じています
もいいですか？
時が来たら、
この家
橋です

海へ。

4月16日

我々がすべき？

母は家族会議を招集する。

オング・スアンは売却しました

金の葉

飛行機のチケットを12枚買うために。

バナムにはバンがあります

ロードする準備ができています

親戚二十五人

海岸に向かって。

母は私たちにこう尋ねます。

家を出たほうがいいでしょうか？

クアン兄弟はこう言います。

どうしたらスクランブルで逃げられるでしょうか

ネズミのように、

名誉もなく、尊厳もなく、

みんなが助けなければならないとき

国を再建しますか？

コイ兄弟はこう言います。

お父さんが帰ってきたらどうしよう

そして彼の家族がいなくなったことに気づきましたか？

V兄さんはこう言います。

はい、行かなければなりません。

彼が夢を見ていることは誰もが知っています

同じ地面に触れるということ

ブルース・リーが歩いた場所。

母は眉をひねる。

私は北に住んでいたことがあります。

最初はあまり何も起こりませんが、

それから突然クアン

大学を辞めるよう求められるだろう。

家に帰ります

スローガンを唱える
H・チ・ミンさんの、
そしてコイは報われるだろう
先生に報告するため
私たちが家の中で言うことすべて。
彼女の眉はねじれる
そんなに
私たちは黙ります。
4月17日

しーしー

コイ兄弟が私を揺さぶる
夜明け前に。
私は彼に従います
裏庭へ。
彼の手のひらで鳴く
綿毛のような黄色い綿毛、
孵化したばかりです。
彼は手のひらを押します
私の悲鳴に対して。
お母さんがどんな決断をしても、
私たちは離れるつもりはありません。
ひよこを守らなければなりません
そしてあなたはあなたのパイパイです。
小指を差し出す
そして見つめる
見つめる
見つめる
私が延長するまで
そしてフックします。
4月18日

静かな決断

夕食の時間
お母さんを手伝います
サツマイモの皮をむく
ご飯を伸ばすこと。
切り落とし始める
ジャガイモの端
と同じくらい広い
サムネイル、
それから決める
切り取る
ほんの一片だけ。
誇りに思います
私の能力の
保存する
見るまでは
涙
母の中で
深い目。
あなたには成長する価値がある
心配しないところ
半分の一口を節約する
サツマイモの。
4月19日

モンズーン初期

私たちはふりをします
モンズーン
早く来ました。
遠方に
爆弾
雷のように爆発し、
スラッシュ
空を明るくし、
砲火

雨のように降る。
遠い
まだ耳の中で、
目の中に。
そんなに遠くない
結局。
4月20日

大統領が辞任

テレビのティ・ユー大統領
悲しくて黄色く見えます。
彼の日焼けはどうなったのですか？
彼の目には涙があふれていた。
今度は本物に見えます。
大統領にはなれない
しかし私は決して仲間を離れることはありません
あるいは私たちの国。
母は片方の眉を上げ、
彼女がすること
彼女が考えるとき
私は嘘をついています。
4月21日

私たちを見守ってください

Snおじさんが帰ってくる
そして私たちに言います
出発の準備をする
いつでも。
誰にも言わないでください、
あるいはサイゴン全域
港を襲撃するだろう。
海軍の家族だけ
船に乗船できます。

Snおじさんとお父さん
同じ海軍階級を卒業した。
それは単なる幸運でした
あのおじさんSn
ミッションには行かなかった
父が捕らえられた場所。
母が私を引き寄せる
そして私の頭を撫でます。
父は私たちを見守っています
たとえ彼がここにいないとしても。
私に言います
彼女と父は協定を結んでいる。
もし戦争が彼らを引き離したら、
お互いを見つけることを知っています
父の先祖代々の家を通して
北部で。
4月24日

十字パック

ペダル、ペダル
母の足
ミシンを押します。
ペダルをこぐのが速ければ速いほど
ステッチが早く現れる
厚手の茶色の布に。
2つの長方形
パックを作ります。
長いストリップ
ハンドルを作る
縛り付けられる
着る人の胸。
時間後
ステッチが現れる

スローモーションで、
針は虫
小さな卵を産む
茶色の布に沈みます。
疲れた虫
再現がはるかに遅くなる
一日の終わりに
最初の頃よりも
母が始めたとき
5袋のうちの1袋目。
コイ兄弟は大声で言います。
3つだけ作ります。
母が行く
高い棚に、
父の肖像画を持ち帰る。
一緒に来てください
さもなければ、みんなで残ります。
考えてみてください、息子よ。
あなたの行動が決める
私たちの未来。
母はこの息子を知っています
傷つくことに耐えられない
誰でも、
何でも。
お父さんを見てください。
一緒に来てください
それで父さん
誇りに思うでしょう
あなたは母親に従いました
彼がここにいない間に。
足の指を見ると、
コイ兄弟の目を感じて
頭皮に火傷を負う。
私も彼がゆっくりうなずいているのを感じた。

誰が逆らえるのか

母親

樹皮のようにやつれてしまった人

一人で4人の子供を育てているのですか？

4月26日

選択

各パックには以下が含まれます：

パンツ1枚、

ショートパンツ1枚、

下着3枚、

シャツ2枚、

サンダル、

歯ブラシとペースト、

石鹸、

米粒十手のひら、

炊き上がったご飯3粒、

一つの選択肢。

私は自分の人形を選びます、

一度近所の人に貸してもらった

誰が外に放置したのか、

ネズミが噛んだ場所

彼女の左頬

そして右手の親指。

もっと愛しています

彼女の傷跡のために。

私は彼女に服を着せます

赤と白のドレスを着て

お揃いの帽子とブーツと一緒に

お母さんが編んでくれたもの。

4月27日

取り残された

金縁の眼鏡が10個
アメリカから連れ帰った
私が生まれる前に彼が修行した場所。
クアン兄弟の
レポートカード、
それぞれが彼をクラスで1位にランク付けし、
幼稚園から始まります。
ブーゲンビリアの蔓
満開で、
バーガンディと白
色のように
我が家の。
ジャスミンの蔓
すべての窓の前で
それは母を思い出させます
北の。
カウボーイレザーベルト
ブラザーVが縫いました
母のマシンで
そして針を折ってしまった。
その時だった
彼は崇拜していた
ジョニー・キャッシュ
より多い
ブルース・リー。
ガラス瓶が並ぶ
コイ兄弟 使用済み
闘魚を育てるために。
フック2個
そしてハンモック
私が昼寝をする場所。
写真：
動物園では毎回、
若い頃の父は、

若い頃の母は、
赤ちゃんの写真、
誰のお尻かわからない場所
世界中の人が見ることができるように公開されています。
お母さんは10個選びます
そして残りを燃やします。
私たちは離れることができない
父の生きた証
それは彼を傷つけるかもしれない。
4月27日
夕方

濡れて泣いている

私の最大のパパイヤ
淡い黄色で、
まだ緑の斑点が残っています。
ブラザーVが欲しい
それを切り詰めるために、
それよりも良いと言う
共産主義者にそれを持たせることだ。
お母さんは黄色いパパイヤと言っています
素敵な味
チリソルトに浸したもの。
あなたたち子供たちは食べるべきです
新鮮な果物
できるうちに。
ブラザーVはチョップします。
頭が落ちる。
銀の刃がスライスします。
黒い種がこぼれる
目の塊のように、
濡れて泣いている。
4月28日

サワーボックス

港で
私たちは見つけます
ことはない
秘密として
ベトナム人の中では。
何千もの
見つけた
海軍の艦艇について
海軍を放棄する準備ができています。
アंकウルSは肘を広げて羽を広げ、
前方に突進する
彼の子供たちを守っています。
でも私たちの家族は団結しています
濡れたページのように。
背中しか見えない
酸っぱくて汗だく。
ブラザーVがステップアップし、
母を彼の前に置く
そして私を持ち上げる
彼の肩に。
彼の手のひらが押します
クアン兄弟とコイ兄弟
フォワード。
私は自分自身に約束します
二度とないように
からかう
ブルース・リー。
4月29日
午後

マット各1枚

私たちは上に登ります

そしてスペースを主張する
2枚の藁のマット
デッキの下で、
私たち5人には十分です
並んで寝ること。
日没までに私たちの空間
1枚の筵ですが、
私たち5人には十分です
一緒に集まること。
ボディーズ・クラム
センチごと
デッキの下、
それからセンチメートルごとに
甲板上で。
誰もが知っている船です
沈む可能性があります、
保持できない
死体の山
這い続ける
荒れ狂うアリのように
破壊された巣から。
でも誰もいない
十分に無情です
言う
停止
なぜなら、もしも
彼らはいた
停止
自分たちの順番の前に？
4月29日
日没

暗闇で

Snおじさんが訪問

そして母にささやきます。
私たちは母をフォローします
Snおじさんをフォローする人
家族を率いるのは誰ですか
デッキまで
そして船から降ります。
言われてきました
隣の船
より良いエンジンを搭載しており、
より多くの水、
無限の燃料、
無数の塩辛い卵。
おじさんは長居する
乗らずに
新しい船。
私たちもそうです。
大群が注ぐ
我々によって、
私たちを超えて。
私たちの上に
爆弾が空を突き破る。
赤と緑のフレア
花火のように爆発します。
すべての照明が消えています
したがって、ポートは
標的。
暗闇で
ここでナッジ
そこを小突く
そして私たちは最終的に
最初の船に戻りました
同じ場所で
マット2枚付き。
ライトなし

私たちの船は海へと滑り出し、
乗客の半分は空になった。

4月29日

真夜中近く

サイゴン・イズ・ゴーン

私は聞きます
スウィッシュ、スウィッシュ
母の手持ち扇風機、
大人たちのささやき、
爆弾はさらに遠ざかる。
指揮官が命令した
デッキの下にいる全員
選んだとしても
安全な川ルート
海とつながるために、
明らかな逃げ道避ける
V ng T u を通じて、
共産主義者が落ち込んでいる場所
彼らが残したすべての爆弾。
TiTiが出てくれるといいのですが。
母は病気です
彼女のお腹には波が立っている
船なのに
かろうじて這っていきます。
ヘリコプターの音が聞こえます
ぐるぐるぐるぐる
私たちの船の近くです。
人々は走って叫び、
共産主義者よ！
私たちの船は低く沈みます
群衆が左に向かって走っていくと、
そして右へ。
これではお母さんの助けにはなりません。

立ち止まっていればいいのに
そして静かに。
指揮官はこう話している。
怖がらないでください！
側のパイロットです
水に飛び込んだ人は、
彼のヘリコプターを許可する
彼の後ろに突っ込む。
飛行士
デッキの下に現れます、
濡れて震えている。
彼は指揮官に敬礼する
そして叫びます、
今日の正午、共産主義者たちは
彼らの戦車を墜落させた
門を通過して
大統領官邸の
そして屋上に植えました
大きな星が1つ付いた旗。
それから彼はこう付け加えた
誰も聞きたくないこと：
もう終わりです。
サイゴンはなくなってしまった。
4月30日
午後遅く

パート II

海で

フローティング

私たちの船は進んでいきます
川のルート

ライトなしで
調理せずに
バスルームなし。
私たちは言われます
水を飲む
しなければならないときだけ
だから私たちの体は
必要なくなる可能性があります。
うちのは聞かないよ。
母はため息をつきます。
彼女を責めているわけではありませんが、
娘がいる
どちらかは誰ですか
喉の渇きで死ぬ
または解放を要求します。
他の少女たち
作らなければならない
竹の、
どちらかに曲がる
彼らは言われる。
母はS叔父さんにこう言いました。
バスルームが必要です。
私たちは許されています
指揮官室に入り、
バスルームはどこですか
とても白くてきれいなので、
恥をかく価値がある。
5月1日

ゆっくり

かじります
最後の塊
炊き込みご飯の
私の袋から。

硬くてカビが生える、
それでいて噛みごたえがあって甘い
内部。
粒一粒噛み砕いてます
ゆっくり。
噛んでいるのが聞こえる
でも見たことない
実際に食べている人も。
誰も申し出ていない
共有する
私の匂い：
イワシ、乾燥ドリアン、
塩漬け卵、煎りごま。
私は向かって傾く
家族
隣のマットの上で。
お母さんしっかりして
彼女は首を振る。
彼女はとても悲しそうな顔をしている
彼女が撫でながら
私の手。
5月2日

配給

三日目に
海に加わります
タイに向けて。
指揮官は言う
十分安全です
彼の部下に料理をさせるため、
私たちが甲板の上に行くために、
みんなが少しでも笑顔になれるように。
十分だと言う
米と水

3週間の間、
しかし救助は起こるはずだ
ずっと早く。
心配しないでください、
あらゆる国からの船
私たちを探しに出ています。
朝、昼、夜
私たちはそれぞれ得ます
米一塊、
小中大、
私たちの身長に応じて、
プラス水1カップ
私たちのサイズに関係なく。
初めてのホットバイト
炊きたてのご飯と、
ふっくらとナッツのような、
想像させてくれる
熟したパパイアの味
何も持っていないのに
他のものとの関係があります。
5月3日

ルーティーン

母が許せない
怠惰な子供たち、
彼女のもの、または他の誰かのもの。
1週間後
船の上
クアン兄弟が始める
英語のレッスン。
そうしてくれたらいいのに
それを次のようにしてください：
元気ですか？
これはペンです。

でも大人がいないときは
彼は言います、
恥を考慮しなければなりません
自分の国を捨てるということ
そして未知に向かって物乞いをする
みんなでまた始まる場所
最低レベルで
社会的規模で。
午後のほうがいいよ
ブラザーVと一緒に、
誰が私たちが望んでいるのか
フロントキックをする
そしてバックキック、
時々追加する
ワンツーパンチ。
コイ兄弟が監視することになる
バスルームのライン、
お尻がはみ出ているところ
海へ
毛布の後ろで吹いている
風の中。
授業がないときは
滞在しなければなりません
母の目の届く範囲で、
赤ちゃんのような。
母が私にくれます
彼女の手書きパッド。
小さく書いて、
パッドは1つしかありません。
書くことは、
つまらない、
だから私は絵を描きます
私の言葉の上で。
フライパンで焼いた細切りココナッツの小袋

バナナの葉にタマリンドペースト
蒸しトウモロコシの穂軸付き
揚げ生地の丸焼き
棒にパイナップルのくさび形
そしてもちろん
柔らかくて光沢のあるパパイアの立方体。
母は私の髪をなでて、
痛みを知る
女の子の
スナックが大好きな人
しかし立ち往生している
船の上で。
5月7日

かつて知っていた

水、水、水
どこにでも
私に考えさせられる
土地なんてただの物だ
かつて知っていた
のように
ハンモックでお昼寝
塩分を含まない入浴
母が書いているのを見ている
理由もなく笑う
粉状の汚れを蹴り上げる
そして
清潔な寝間着を着ている
太陽の匂いがする。
5月12日

コイ兄弟の秘密

コイ兄弟 臭い。
それを無視することはできません。
彼は煮込み、汗をかきます
ジャケットの中で
彼は離陸しません。
スポンジ拭きを強制される
1日2回、
彼はジャケットを包みます
彼の腰のあたり。
何かを握り続けている
左ポケットには、
悪臭が発生する場所。
近隣住民が苦情を言い、
それらさえも
8畳離れたところに、
それは十分に悪いことだと言う
閉じ込められて
腐敗した熱気の中で
発酵体から作られる
そして油っぽい汗、
誰もがしなければなりません
も耐える
何か腐った？
ついにブラザーV
コイ兄弟を抱く 下
そして彼に強制する
彼の手を開くために。
平らになったひよこ
曲がって横たわり、
首がぶら下がっている
彼の手ひらから。
ひよこはそうではなかった
チャンス
私たちが押し込んだ後

搭乗まで何時間も。
コイ兄弟は叫びます。
私たちのマットからすべてを蹴り出します。
クアン兄弟
彼を運ぶ
デッキの上。
静かな。
5月13日

最後の敬意

海で2週間過ごした後
指揮官が呼ぶ
私たち全員がデッキの上で
正式な値下げに向けて
私たちの黄色の旗
3本の赤いストライプが入っています。
南ベトナムはもう存在しない。
一人の女性が投げようとする
彼女自身が船外に出て、
国がないと叫んでいる
彼女は生きていけない。
彼らが彼女を組み伏せると、
男が心臓を刺す
歯ブラシで。
私は彼らを知りませんが、
だから彼らの痛みは非現実的に見える
・コイの隣に、
その目は野生のように
彼の壊れたひよこのように。
私は彼の手を握ります：
私と来て。
彼は抵抗しません。
一人で
船の後部で

私は母の白いハンカチを開きます。
中にはネズミに噛まれた私の人形が入っています。
彼女の腕が巻き付いた
彼のひよこのぐったりとしたふわふわした体。
全部束ねて束ねます。
コイ兄弟 うなずく
そして私は微笑みます、
でも後悔してる
私の人形を持っていない
白い束ができたらすぐに
海に沈んでしまいます。
5月14日

ワンエンジン

真ん中に
夜の
私たちの船は止まります。
母は私を抱きしめて、
ハートをドラムで叩く
一つとして。
共産主義者なら
逃げる私たちを捕まえて、
それは100万倍悪いです
家にいるよりも。
たくさん叫んだ後
そしてたくさん時間を
船は前に進みます
たった1つのエンジンで。
母はそうしないだろう
放して。
指揮官はこう言います、
タイはもっと遠い
1つのエンジンで。
取るのは危険だった

川のルート。
私たちは爆弾から逃れました
しかし救助船を逃した。
指揮官が決める
配給は今です
米の半分の塊
朝と夜だけ、
そして水1カップ
一日中。
一口、
彼は言います、
そして力を無駄にしないでください
動き回ります
それは不可能だから
予測する
どれくらい
私達はします
浮いてる。
5月16日

ムーン

日中
デッキが属します
男性と子供たちに。
夕暮れ時
女性は自らの道を歩み出す
上。
単一ファイルの場合
彼らはスポンジで入浴します
そして安心してください
毛布のカーテンの後ろ。
私はいつも列に並んでいます
母と一緒に。
毎晩

彼女は上を指差した。

少なくとも

月は残っている

変更なし。

あなたのお父さんが探しているかもしれませんが

同じ丸い月に。

彼はもう理解しているかもしれない

彼を待ちます

世界中で。

罪悪感を感じる、

一度もなかった

父のことを考えた。

彼に望むことはできない

現れる

場所がわかるまで

私たちはそうなります。

5月18日